

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120—094—777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.daiso.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

単元未満株式をお持ちの株主さまへ

当社は、1単元(1,000株)に満たない当社株式を所有されている株主さまの便宜をはかるため、「単元未満株式の買増・買取制度」を実施しております。
お手続きなどの詳細に関しましては、証券会社にて株式を管理されている場合はお取引先の証券会社に、特別口座にて株式を管理されている場合は、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。

当社グループをより知っていただくために、ホームページもご活用ください。

- 最新の情報はこちらをご覧ください。
ホームページアドレス <http://www.daiso.co.jp/>



トップページ

株主のみなさまへ

第159期 中間報告書

平成25年4月1日から平成25年9月30日まで

化学でもっといいこと。

 **ダイソー株式会社**
DAISO

証券コード 4046 <http://www.daiso.co.jp/>



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より、格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループは、第159期中間期(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)の決算を行いましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

平成25年12月

代表取締役
社長執行役員 **佐藤 存**

事業の経過およびその成果

当中間期におけるわが国経済は、政府の経済対策を背景とした円高是正を受け、輸出関連企業を中心とした業績の回復により景気持ち直しの動きが見られました。一方、原燃料価格の高騰や欧州経済の低迷等、景気下振れリスクが存在する状況下で推移いたしました。

このような環境の下、当社グループは高付加価値企業への事業転換を進めるとともに、機能化学品の輸出拡大、クロール・アルカリの国内シェア拡大に取り組んでま

いりました。また、水島地区ではエピクロルヒドリン増産のための大型設備投資を実施するとともに、コスト低減対策として省エネ電解槽の導入、多角的調達のための原材料貯蔵設備への投資を行いました。

以上の結果、当中間期の売上高は、448億1千2百万円と前年同期比10.3%増加いたしました。利益面においては、営業利益は、21億2千9百万円と前年同期比0.1%の増加、経常利益は、23億5千7百万円と前年同期比9.3%の増加、四半期純利益は、13億1千5百万円と前年同期比23.0%の増加となりました。

通期の見通し

今後の見通しにつきましては、政府の金融政策や経済政策の効果により、緩やかな景気回復基調が継続するものと期待されますが、原燃料価格や為替の変動などの先行き不透明な要因に加え、欧州での財政問題、新興国の成長鈍化による海外景気の下振れの影響も懸念され、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況で推移するものと予想されます。

このような情勢の下、当社グループはアジア、欧米をはじめとした海外販売体制を一層強化するとともに、生産プロセスの改善やエネルギーの効率的利用など、一層のコスト削減に注力し収益力向上に努め、連結売上高900億円、連結経常利益52億円の達成に向け、全力で取り組んでまいります。

中間配当につきましては、1株につき3.5円とさせて

いただきました。期末配当金につきましても、1株当たり3.5円を予定しておりますので、1株当たりの年間配当金は前年度と同額の7円とさせていただく予定であります。

当社グループは、企業の社会的責任を重視し、日々の事業活動において法令遵守に積極的に取り組み、内部統制システムの強化によりコンプライアンス体制の充実を図り、社会に信頼される企業グループを目指してまいります。

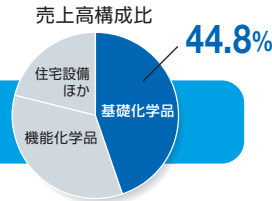
環境・安全と製品の品質の確保につきましても、レスポンス・ケア活動とISO活動を中心に万全を期するとともに、環境負荷低減のために省資源・省エネルギー活動に積極的に取り組み、地球環境と調和した企業の発展を図ってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

企業理念

1. 私たちは 化学を中心とする事業を通じて より豊かな社会の実現に貢献します
2. 私たちは 世界に信頼される技術と製品を 創造します
3. 私たちは 情熱と誠意をもって 行動します

基礎化学品



クロール・アルカリは、市況は弱含みで推移しましたが、戦略的販売施策の実施により販売数量が増加し、売上高が増加しました。

エピクロルヒドリンは、アジア市場価格の下落と国内電子材料向けエポキシ樹脂の需要の減少により、売上高が減少しました。

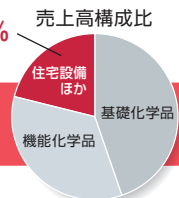
アリルクロライドは、需要が堅調に推移し、売上高が増加しました。

以上の結果、基礎化学品の売上高は、200億5千9百万円と前年同期比2.4%の増加となりました。

主要製品

かせいソーダ、塩酸、液化塩素、塩素ガス、次亜塩素酸ソーダ、亜塩素酸ソーダ、塩素酸ソーダ、かせいカリ、水素ガス、エピクロルヒドリン、アリルクロライド、農業原体、塗料原料、接着剤原料等

住宅設備ほか



化粧板などのダップ加工材は、新築やリフォーム向けの需要が増加するとともに、住宅関連商品が好調に推移し、売上高が増加しました。

エンジニアリング事業は、化学プラント設備増強工事の受注が増加し、売上高が増加しました。

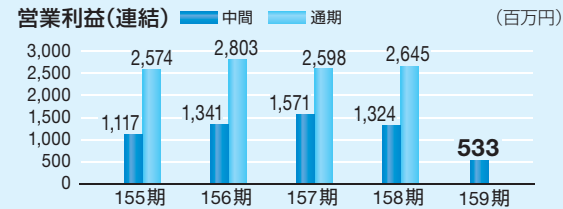
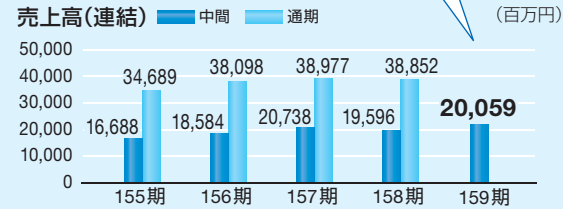
以上の結果、住宅設備ほかの売上高は、93億7千8百万円と前年同期比15.2%の増加となりました。

主要製品

ダップ加工材、住宅関連製品、健康食品、化学薬品の輸送・貯蔵、化学プラント、環境保全設備建設等

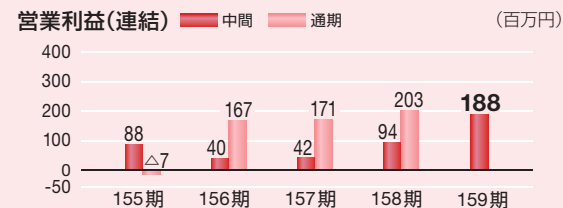
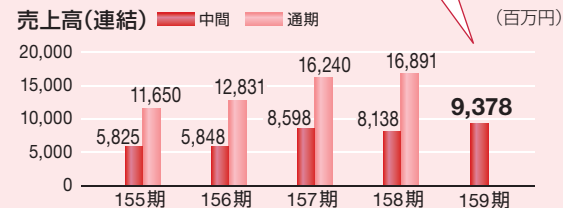
売上高

200億5千9百万円
2.4%増加

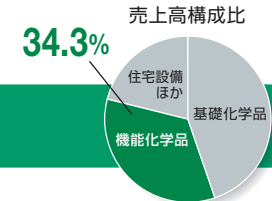


売上高

93億7千8百万円
15.2%増加



機能化学品



アリルエーテル類は、為替が円安に推移するとともに、欧米向けの販売数量が増加し、売上高が増加しました。

エピクロルヒドリンゴムは、欧州経済の低迷により自動車用途向け、OA機器用途向けが低調に推移しましたが価格改定の効果もあり、売上高が増加しました。

ダップモノマーは欧州、アジア向け輸出が堅調に推移するとともに、ダップ樹脂はUVインキ用途向けなどが国内外ともに堅調に推移し、売上高が増加しました。

液体クロマトグラフィー用シリカゲルは、医薬品精製用途においてアジア、欧米への輸出が好調に推移し、売上高が増加しました。

医薬品原薬・中間体は、抗潰瘍薬中間体などが低調でしたが、抗ウイルス薬中間体、急性心不全治療薬原薬、筋疾患治療薬原薬および食品添加物用酵素などが好調に推移し、売上高が増加しました。

カラーレジストはタブレット、スマートフォン向けが好調に推移し、売上高が増加しました。

また、昨年9月に買収した(株)インペックスのグラスファイバーに関する事業では電子材料および産業資材向けに販売数量が増加し、売上高が増加しました。

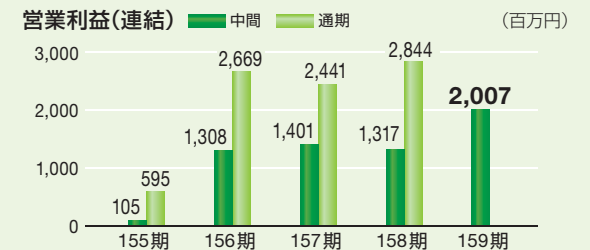
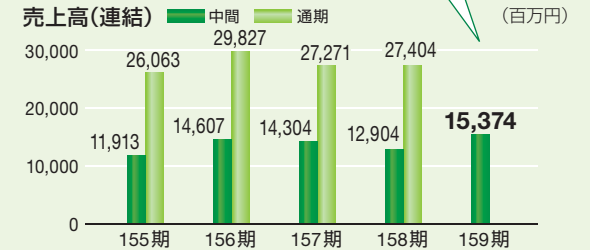
以上の結果、機能化学品の売上高は、153億7千4百万円と前年同期比19.1%の増加となりました。

主要製品

アリルエーテル類、エピクロルヒドリンゴム、ダップ樹脂、省エネタイヤ用改質剤、液体クロマトグラフィー用シリカゲル、レンズ材料、感光性樹脂、カラーレジスト、電極、医薬品原薬・中間体、光学活性体、グラスファイバーに関する事業、資源リサイクル等

売上高

153億7千4百万円
19.1%増加



みなさまの日々の暮らしのなかで活躍するダイソーグループの製品

ダイソーグループの製品は、日々の生活に役立つ素材としてさまざまな分野で活躍しています。

基礎
化学品

かせいソーダ

紙パルプ・繊維・食品・化学製品全般に使用されています。当社は西日本を中心に安定的な供給力と需要基盤を持っています。



塩酸

中和・排水処理、各種工業原料として使用されており、環境負荷低減に貢献しています。



液化塩素

ポリカーボネート等の各種樹脂原料に使用され、アクリクロライド・エポクロロヒドリンなど自家消費を中心に強固な事業基盤を持っています。



次亜塩素酸ソーダ

主に上下水道・プール等の殺菌に使用されます。当社では、上水道殺菌用の不純物の少ないグレードに注力しています。



亜塩素酸ソーダ

白いワイシャツなどの繊維の漂白に使用され、綿のやわらかな風合いを損なわない漂白剤として高く評価されています。



塩素酸ソーダ

パルプ漂白用などに使用されています。近年、塩素漂白からの切り替えにより需要が増加しています。



エピクロロヒドリン

主にエポキシ樹脂の原料として使用されます。エポキシ樹脂の用途は、塗料40%、電気・電子40%、土木・接着剤他20%となっています。



農薬原体

根菜類の発育を阻外する線虫を駆除する土壌くん蒸剤に使用されています。

住宅
設備
ほか

ダップ加工材

ダップ樹脂を用いて製造される化粧板は、ホルマリンや有害揮発性物質(VOC)を含まない安全で環境にやさしい製品です。洗面台、家具、壁材などに使用されています。



住宅関連製品

長年培ってきた産業向け技術の応用により二酸化塩素を顆粒状にし、ご家庭でも安全に使用できる空間除菌製品を製造・販売しています。



化学プラント

ダイソーエンジニアリング(株)では、化学プラントのプランニングから設計、施工、メンテナンスに至る一貫したニーズにお応えします。



環境保全設備

ダイソーエンジニアリング(株)では、微量水銀の除去システムや脱臭装置などの設計、施工を行っています。

機能
化学品

アリルエーテル類

アリルグリシジルエーテルは、半導体封止材やプリント基板などの電子材料分野や高機能化が進むコーティング分野など多彩な用途で使用されています。



エピクロロヒドリンゴム

自動車の高性能化や環境規制の強化にも対応できる特殊ゴム素材として注目されているほか、半導電特性を活かし、OA機器部品にも使用されています。



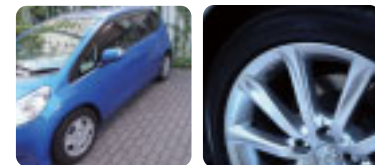
ダップ樹脂

環境にやさしい有機溶剤フリーのUVインキに使用されるほか、高度な品質レベルが要求される電子・電気部品など幅広い産業のニーズに対応しています。



省エネタイヤ用改質剤

省エネタイヤ用改質剤「CABRUST™」は低燃費タイヤの添加剤として使用されるシランカップリング剤です。タイヤの燃費改善のほか、濡れた路面での優れた制動性能を発揮します。



液体クロマトグラフィー用シリカゲル

医薬品をはじめ、化粧品、機能性食品などの分析や分取精製に使用される機能性分離材料です。近年、欧米の医薬精製用途で需要が増加しています。



医薬品原薬・中間体

サンヨーファイン(株)では、医薬中間体から原薬までの一貫体制を整えており、骨粗しょう症治療薬原薬、抗潰瘍薬中間体、血管拡張剤中間体などの受託生産を行っています。



電極

ダイソーエンジニアリング(株)の高耐久性電極は、化学品製造、銅板めっき、電解銅箔、プリント基板めっきなどの幅広い分野で使用されており、特に電気亜鉛めっき用の酸素発生用電極では国内トップシェアです。



グラスファイバー

(株)インベックスでは、海外の有力なメーカーとタイアップして、電子材料、バスタブ、プレジャーボートの補強材向けなどの新市場、新規顧客の開拓を行っています。



資源リサイクル

(株)ジェイ・エム・アールでは、優れた水銀吸着性能を持つ「ダイソー MR™」を利用した設備で、蛍光管などに含まれる水銀を効率よく除去・回収し、ガラス、金属などとともに再資源化を行っています。



ダイソーグループは、製品、サービスを通じて環境負荷の低減・安全衛生の向上に貢献しています。



使用済み蛍光管受入時の様子



場内の様子



直管破砕機



丸管破砕機

環境

蛍光管などのリサイクル事業を強化

～循環型社会の実現に貢献～

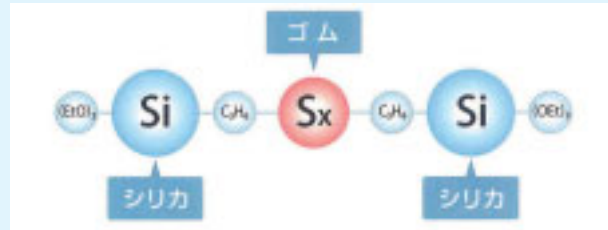
(株)ジェイ・エム・アールは、使用済み蛍光管や水銀ランプ、放電管、液晶バックライト、LEDランプなどのリサイクル事業を行っています。オフィスビルや工場、大型商業施設などから回収された使用済み蛍光管などをガラス、アルミ、蛍光体、水銀などに分別し、資源として再利用しています。

2001年の設立以来、優良産業廃棄物処理業者としての高評価を背景に、受託量は着実に増加しています。

今後は長年培ってきた金属回収技術を応用し、新たな資源回収ビジネスへの展開を図り、循環型社会の実現に貢献してまいります。



省エネタイヤ用改質剤「CABRUS™」(カプラス)の化学構造



カプラス™は、有機物と無機物を化学的に結合させる働きをします。

省エネ

省エネタイヤ用改質剤が自動車の燃費改善に貢献

～環境意識の高まりから低燃費タイヤの需要が増加～

自動車の燃費に占めるタイヤの影響は約20%といわれており、タイヤの転がり抵抗(注1)の低減は省エネルギー化にとって重要な要素となっています。シリカ配合タイヤは、燃費を5%程度改善する効果があります。

当社の省エネタイヤ用改質剤「CABRUS™」(カプラス)(注2)は、馴染みの良くないゴムとシリカの結合を補助する添加剤として低燃費タイヤに使用されるシランカップリング剤です。最近では、環境意識の高まりから低燃費タイヤが普及しており、CO₂排出量の削減に役立っています。

(注1)転がり抵抗:主に走行時のタイヤの変形によるエネルギーロスで発生する。

(注2)「CABRUS™」は、Coupling Agent for Bonding Rubber and Silicaの頭文字。



衛生管理

空間除菌剤の需要増加に対応

～安定かつ長期持続の徐放性を実現～

当社は、二酸化塩素の働きにより周囲の空間を除菌できる空間除菌剤「クロサイド」を製造しています。二酸化塩素を固体(顆粒)化することによって、安定的かつ長期持続の徐放性を実現しました。現在、原料供給先との提携によって、ホルダータイプ、置き型タイプを商品化し、量販店やドラッグストアなどで発売しています。

インフルエンザの流行などを背景に、空間除菌グッズの市場は年々拡大しており、2012年度には国内で約30億円と前年の約1.5倍に達しています。

今後は戦略商品として、販路開拓のための提携なども視野に入れ、市場シェアを拡大する計画です。



電極



電極テスト機

環境保全 コスト ダウン

電極事業を推進

～耐久性と消費電力低減効果で環境保全、コストダウンに貢献～

ダイソーエンジニアリング(株)の電極「SPLODE™」は、消費電力の低減効果により環境保護に役立つだけでなく、長寿命で耐久性に優れるため、お客様のコストダウンにも貢献しています。

当社グループが創業以来蓄積してきた電気化学の技術とノウハウを基に独自の不溶性陽極技術を確立し、これを製品開発に役立てています。

化学品製造、鋼板めっき、電解銅箔、プリント基板めっきなどの産業用設備から民生用途まで幅広い分野で使用されています。

今後は、かせいソーダ、銅箔、鉄鋼の主軸3分野で海外顧客の開拓を推進します。

中間連結財務諸表

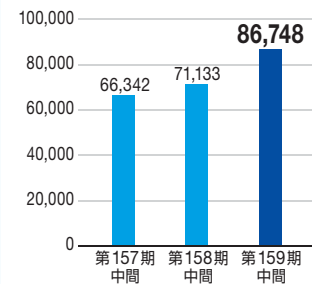
中間連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

科 目	前中間連結会計期末 (平成24年9月30日現在)	当中間連結会計期末 (平成25年9月30日現在)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成25年3月31日現在)
資産の部			
流動資産	40,752	49,561	41,555
固定資産	30,380	37,187	35,248
有形固定資産	18,603	21,908	20,784
無形固定資産	1,344	1,233	1,248
投資その他の資産	10,433	14,045	13,215
資産合計	71,133	86,748	76,804
負債の部			
流動負債	29,800	33,971	31,753
固定負債	6,525	13,047	6,804
負債合計	36,326	47,019	38,558
純資産の部			
株主資本	34,251	36,628	35,682
その他の包括利益累計額	517	3,087	2,526
新株予約権	37	14	37
純資産合計	34,807	39,729	38,246
負債純資産合計	71,133	86,748	76,804

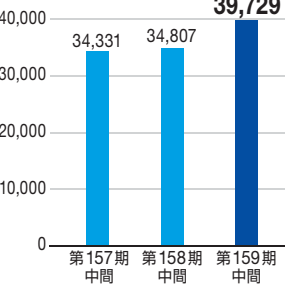
総資産

(単位:百万円)



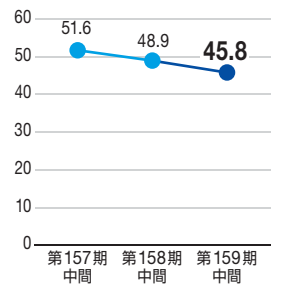
純資産

(単位:百万円)



自己資本比率

(単位:%)



中間連結財務諸表

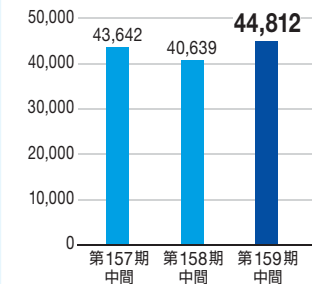
中間連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科 目	前中間連結会計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	40,639	44,812	83,149
売上原価	33,707	37,801	68,879
売上総利益	6,931	7,010	14,269
販売費及び一般管理費	4,804	4,881	9,731
営業利益	2,127	2,129	4,538
営業外収益	208	319	610
営業外費用	179	91	123
経常利益	2,156	2,357	5,025
特別利益	29	528	30
特別損失	424	659	507
税金等調整前中間(当期)純利益	1,761	2,225	4,547
法人税、住民税及び事業税	773	1,098	1,303
法人税等調整額	△81	△187	355
中間(当期)純利益	1,069	1,315	2,888

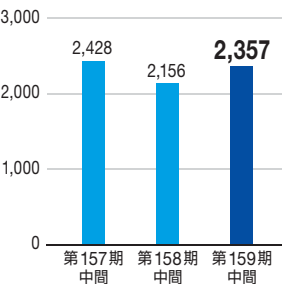
売上高

(単位:百万円)



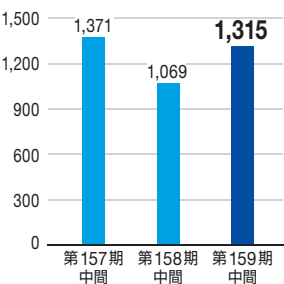
経常利益

(単位:百万円)



中間純利益

(単位:百万円)



中間連結財務諸表

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

科 目	(単位：百万円)		
	前中間連結会計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	626	1,776	4,711
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,641	△2,375	△5,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,229	7,095	430
現金及び現金同等物に係る換算差額	△61	43	94
現金及び現金同等物の増減額	△1,847	6,540	53
現金及び現金同等物の期首残高	5,881	5,934	5,881
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	4,034	12,475	5,934

中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：百万円)

項 目	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	その他の包括利益 累計額合計		
平成25年4月1日残高	10,882	9,394	17,074	△1,668	35,682	2,527	△1	2,506	37	38,246
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△368		△368					△368
中期純利益			1,315		1,315					1,315
自己株式の取得				△0	△0					△0
自己株式の処分		0			0					0
株主資本以外の項目の 中間連結会計年度中の 変動額(純額)						542	18	560	△22	537
中間連結会計期間中の変動額合計	—	0	946	△0	945	542	18	560	△22	1,483
平成25年9月30日残高	10,882	9,394	18,021	△1,669	36,628	3,069	17	3,087	14	39,729

(注)中間連結貸借対照表、中間連結損益計算書、中間連結キャッシュ・フロー計算書、中間連結株主資本等変動計算書に記載の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株式情報(平成25年9月30日)

株式の状況

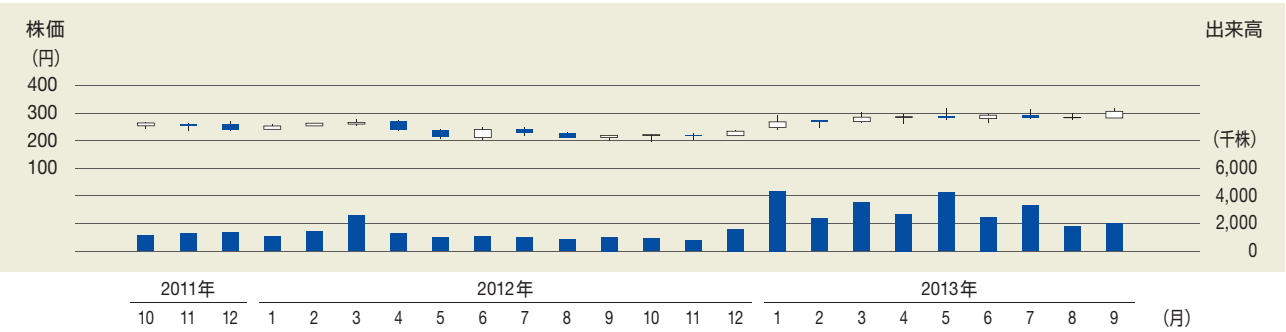
発行可能株式総数 ----- 300,000,000 株
発行済株式の総数 ----- 111,771,671 株
株主数 ----- 7,274 名

大株主一覧(上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本興亜損害保険株式会社	4,692	4.45
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,384	4.16
株式会社池田泉州銀行	4,240	4.02
株式会社福岡銀行	4,113	3.90
株式会社伊予銀行	3,744	3.55
日本生命保険相互会社	3,432	3.25
帝人株式会社	3,393	3.22
株式会社みずほ銀行	3,348	3.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,256	3.09
旭化成ケミカルズ株式会社	2,933	2.78

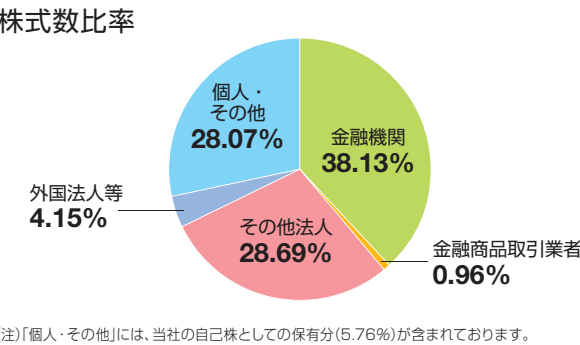
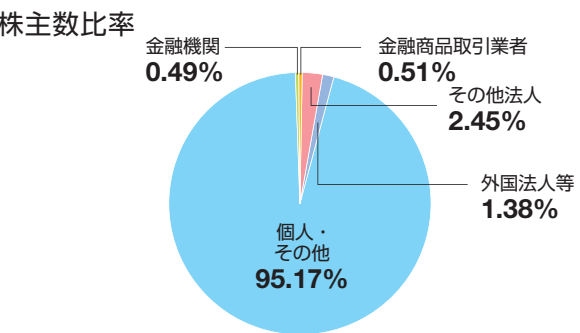
(注)出資比率は、発行済株式の総数から自己株式(6,440,995株)を控除して計算しております。

株価および出来高の推移



東証と大証の市場の統合にともない、2013年7月12日までは大証における株価および出来高、7月16日以降は東証における株価および出来高を採用しております。

株主分布状況



会社概要
(平成25年9月30日)

社名
ダイソー株式会社
DAISO CO.,LTD.

URL
http://www.daiso.co.jp/

創立
1915年(大正4年)10月26日

資本金
10,882百万円

連結従業員数
805名

子会社等の状況

国内	
会 社 名	主要な事業内容
ダイソーケミカル(株)	化学製品の販売
ダイソーエンジニアリング(株)	電極の製造販売、化学設備の設計・施工
サンヨーファイン(株)	医薬品原薬・中間体の製造・販売
(株)インペックス	化学製品の販売
(株)ジェイ・エム・アール	資源リサイクル
DSロジスティクス(株)	化学製品の運送取扱い
DSウェルフーズ(株)	健康食品の製造、加工販売
岡山化成(株)	化学製品の製造

海外	
会 社 名	主要な事業内容
大曹化工貿易(上海)有限公司	機能化学品・電子材料等の輸出入
台灣大曹化工股份有限公司	機能化学品・電子材料等の輸出入
DAISO Fine Chem USA, Inc.	シリカゲルの販売、カラムの製造販売
DAISO Fine Chem GmbH	シリカゲル、医薬品原薬・中間体の販売
DAISO CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.	機能化学品・電子材料等の輸出入

役員
(平成25年10月1日)

[取締役・監査役]

代表取締役社長執行役員	佐藤 存
取締役専務執行役員	山下 光 一
取締役常務執行役員	柴 野 美知朗
取締役上席執行役員	鳥 井 宗 朝
取締役上席執行役員	多 木 宏 行
常 勤 監 査 役	瀬 川 恭 史
常 勤 監 査 役 (社 外)	谷 口 隆 治
監 査 役 (社 外)	福 島 功
監 査 役 (社 外)	森 真 二

[執行役員]

執 行 役 員	竹 尾 恒 行
執 行 役 員	平 井 直
執 行 役 員	寺 田 健 志
執 行 役 員	門 屋 純 一
執 行 役 員	中 島 与志明
執 行 役 員	雑 賀 哲 行
執 行 役 員	馬 場 一 郎
執 行 役 員	堀 登
執 行 役 員	加 藤 善 徳
執 行 役 員	森 裕治郎
執 行 役 員	松 本 敏
執 行 役 員	古 川 喜 朗
執 行 役 員	阿 部 哲 生
執 行 役 員	西 本 光 伸

事業所等の状況
(平成25年9月30日)

